

# イサムフレッシュベース1液

水性1液微弾性フィラー

F★★★★

イサムフレッシュベース1液は、下塗りシーラーとフィラーの機能を持った微弾性厚膜下塗り材です。適度な弾性がひび割れに追従する環境にやさしい水性1液型塗材です。

## 特長

- 微弾性の塗膜でヘアークラックに追従
- 優れた下地の目止め効果
- 施工が容易で工期短縮が可能

## 適用下地

コンクリート・セメントモルタル・各種旧塗膜 等

## 標準塗装仕様（塗替え）

工程	使用材料	調合比 (重量比)	希釈率 (%)	標準塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装回数	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
下地の補修	下地の改修が必要な場合は、調査結果に基づき補修を行う。						
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧塗膜の浮き、ふくれ、脆弱部分などは除去する。</li> <li>・汚れ、ほこり、白化塗膜などは高圧洗浄等で除去する。</li> <li>・塗装前は乾燥した清浄な下地とする。</li> </ul>						
シーラー	(シーラーが必要な場合) アクアートWシーラー	1液型	無希釈	0.15 ~ 0.2	1	ウール ローラー	5 ~ 72h
下塗り	イサムフレッシュ ベース1液	1液型	清水 2 ~ 7	スチップル模様 0.9 ~ 1.5	1 ~ 2	多孔質 ローラー	12h 以上
			清水 5 ~ 8	旧テクスチャーを 活かした仕上げ 0.4 ~ 0.6	1 ~ 2	ウール ローラー	5h 以上
			清水 3 ~ 6	吹付パターン 0.7 ~ 1.2	1 ~ 2	吹付 リシンガン	12h 以上
上塗り	適用上塗り塗料	塗装仕様につきましては各種上塗り塗料のカタログと施工仕様書をご確認ください。					

※1 上記塗布量は標準数値です。被塗物の形状、気象条件等によって増減します。

※2 新築や塗替えの下地面状態によってシーラーの必要な場合があります。その場合は「アクアートWシーラー」を使用してください。

## 荷姿

材料名	容量	標準塗面積	
イサムフレッシュ ベース1液	16 kg	多孔質 ローラー	10 ~ 17 m <sup>2</sup>
		ウール ローラー	26 ~ 40 m <sup>2</sup>
		吹付 リシンガン	13 ~ 22 m <sup>2</sup>



## 適用上塗り塗料と工法

工法名	材料名	容量	標準塗面積	塗料種別
WS工法	アクアート1000	15 kg セット	42 ~ 50 m <sup>2</sup> (2回塗り)	水性2液 アクリルウレタン
	アクアートS I	15.5 kg セット	44 ~ 51 m <sup>2</sup> (2回塗り)	水性2液 アクリルシリコン
	アクアシリカ	15 kg	43 ~ 50 m <sup>2</sup> (2回塗り)	水性1液 アクリルシリコン
	アクアプレシヤス	15 kg	43 ~ 50 m <sup>2</sup> (2回塗り)	高耐候水性1液 アクリルシリコン
BS工法	ネオシリカ21C4000	中塗り 18 kg セット	120 ~ 150 m <sup>2</sup> (1回塗り)	高耐久低汚染 溶剤2液弾性 アクリルシリコン
		上塗り 15 kg セット	100 ~ 125 m <sup>2</sup> (1回塗り)	
	ネオシリカ21Cライト1000R	15 kg セット	42 ~ 50 m <sup>2</sup> (2回塗り)	高耐久低汚染 弱溶剤2液 アクリルシリコン
	ライトシリカ	15 kg	42 ~ 50 m <sup>2</sup> (2回塗り)	弱溶剤1液 アクリルシリコン

## 塗料取り扱いおよび貯蔵上の注意

### 【施工上の注意】

- 気温5℃以下、湿度85%以上、結露および強風、降雨、降雪が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 新築や塗替えの下地状態によってシーラーの必要な場合があります。その場合は「アクアートWシーラー」を使用してください。
- 旧塗膜は汚れ、ほこり、白化塗膜等を取り除き、清浄な面としてください。
- 下地がコンクリート、モルタルの場合、十分に乾燥を行ってください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材等)に塗装する場合は、蓄熱、水の影響、下地の状態、塗装環境などの条件の重なりにより建材の変形・塗膜の膨れや剥離などが生じることがあります。
- シーリング材は可塑性を含まないノンブリードタイプを使用してください。シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や状態によって塗膜の密着に不具合が生じる場合があります。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様にてパターン合わせを行ってください。
- 飛散を防止し、施工面とその周辺、床などに汚染や損傷を与えないよう適切な養生を行ってください。
- 最終養生工程中に降雨や結露が予想される場合、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみ等が生じる場合がありますので、塗装を避けるか、シート養生を行うなどして塗膜に水分が当たらないようにしてください。
- 希釈は塗装仕様の希釈率を守り、均一になるようミキサー等で十分に攪拌してください。希釈過多・不足によりタレや隠ぺい不足、仕上がりがムラが生じる場合があります。
- 指定以外の材料と混合しないでください。
- 塗装仕様の塗布量や塗装間隔を守って施工してください。
- 被塗物の形状、膜厚、希釈量の違いにより実際のツヤと異なって見える場合があります。またローラー目により色相や仕上がりが異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。
- 仕上げ材は乾燥後に弾性塗膜となるため、養生テープはナイフカットして除去してください。
- 弾性系塗料は塗膜が伸びてクラック追従性を発揮しますが、自然災害による想定外の振動や特殊構造の壁などの原因により、本来のクラック追従性が発揮されない場合があります。

### 【安全衛生・貯蔵上の注意】

- 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は皮ふに直接触れないようにし、防塵マスク、保護メガネ、長袖の作業衣等、保護用具を必ず着用してください。
- 容器からこぼさないように取り扱ってください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、0℃以下または40℃以上になる場所を避けて保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。
- 塗装以外の用途には使用しないでください。
- 容器などを洗浄した排水などは、必ず適切な処理をしてください。

※廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。

※詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。



# イサム塗料株式会社

<http://www.isamu.co.jp/>



東京支店	〒335-0014	埼玉県戸田市喜沢南 1-5-37	TEL 048-444-0136	FAX 048-444-0138
名古屋支店	〒452-0824	名古屋市西区こも原町 82	TEL 052-502-0136	FAX 052-502-0174
大阪支店	〒532-0035	大阪市淀川区三津屋南 3-9-8	TEL 06-6308-1363	FAX 06-6308-1348
福岡支店	〒811-2304	福岡県粕屋郡粕屋町仲原 2777-1	TEL 092-611-1360	FAX 092-623-8430
仙台出張所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町 4-2-21	TEL 022-206-6136	FAX 022-208-5136
滋賀工場	〒525-0072	滋賀県草津市登山 8-2-1	TEL 077-562-1360	FAX 077-562-1364
札幌	TEL 011-823-1360	広島	TEL 082-291-1234	